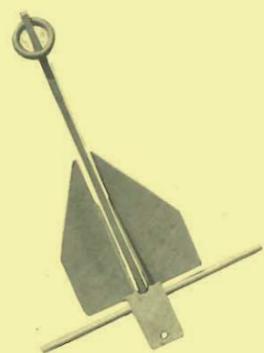


附属品



セーフティアンカー

オイルフェンスを長時間定置したり、岸壁・棧橋・船腹などに接触するのを防ぐために使用して下さい。5・7・10・15・20・25・30・40・50kgの各種があります。



ロープ

オイルフェンス曳航の時や、アンカーロープとして御使用下さい。各種・各サイズがあります。



ホールデンアンカー

四又錨で収納に便利です。4・6・8・10・13kgがあります。



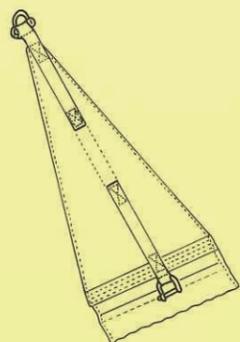
ライフジャケット

作業中の安全の為に着用下さい。



プラスチックブイ

潮流の早い場所、風波の激しい時などにオイルフェンスとアンカーの間に使用して下さい。300・330・360mmのサイズがあります。



ナスコ・ストレッチガイド

曳航時に御使用下さい。A(C3タイプ用)、B(E4タイプ用)の2種類あります。

NASKO

ナスコ オイルフェンス

実用新案登録第832306号 / 運輸省型式承認品



販売店



クラーク 株式会社

〒453-0016 愛知県名古屋市中村区竹橋町 21 番 4 号
電話番号 : 052-451-8152 FAX 番号 : 052-459-7177
HP: <https://klark.jp/> MAIL: netdenet@klark.co.jp

nakasen
NAKAMURA SENGU

頼れる船具

中村船具工業株式会社

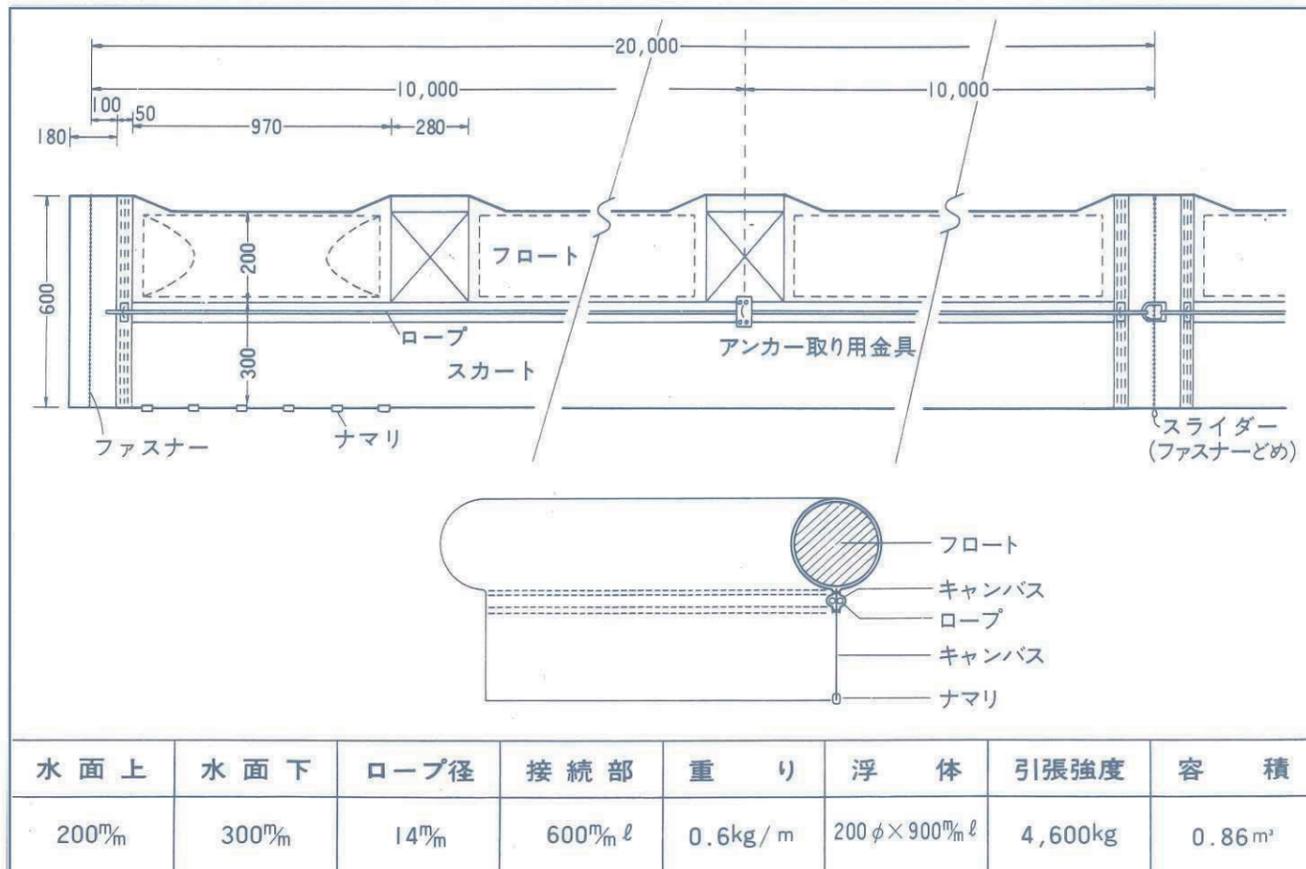
本社 〒232 横浜市区永田東3-6-15 TEL (045) 713-5481

NASKO OIL FENCE 法令A種C3タイプ

運輸省令第29号(昭和49年7月13日)海洋汚染防止法施行規則の一部を改正する省令に基づく、オイルフェンスA種です。(海面上の高さ20cm・海面下の深さ30cm)
 ナスコC3タイプは形状・大きさ・接続部の型式はすべて同じです。しかし防油壁を構成する主材料(帆布)の材質・性能などにより、これを下欄表のごとく用途別に6種類の型式に分けています。

A種の適用範囲

- 500t未満のタンカー
- 5万KL未満の油保管施設
- 1万t未満のタンカー係留施設



●上欄はC3タイプすべて共通の数値。 ●下欄はタイプ別による比較表。

型式	C3-A	C3-C	C3-K	C3-L	C3-T
防油壁の主材料	クレモナ5150	クラフテル6号	クラフテル4号	レオナ T-3000	テトロン T-5000
材質	ビニロン	エステル	エステル	ナイロン	エステル
製品重量 20m当り/kg	39 kg	40 kg	43 kg	41 kg	62 kg
用途	緊急用	緊急用	予防用	予防用	常設用
型式承認番号	第P-217号	第P-218号	第P-219号	第P-220号	第P-222号

NASKO OIL FENCE 法令B種E4タイプ

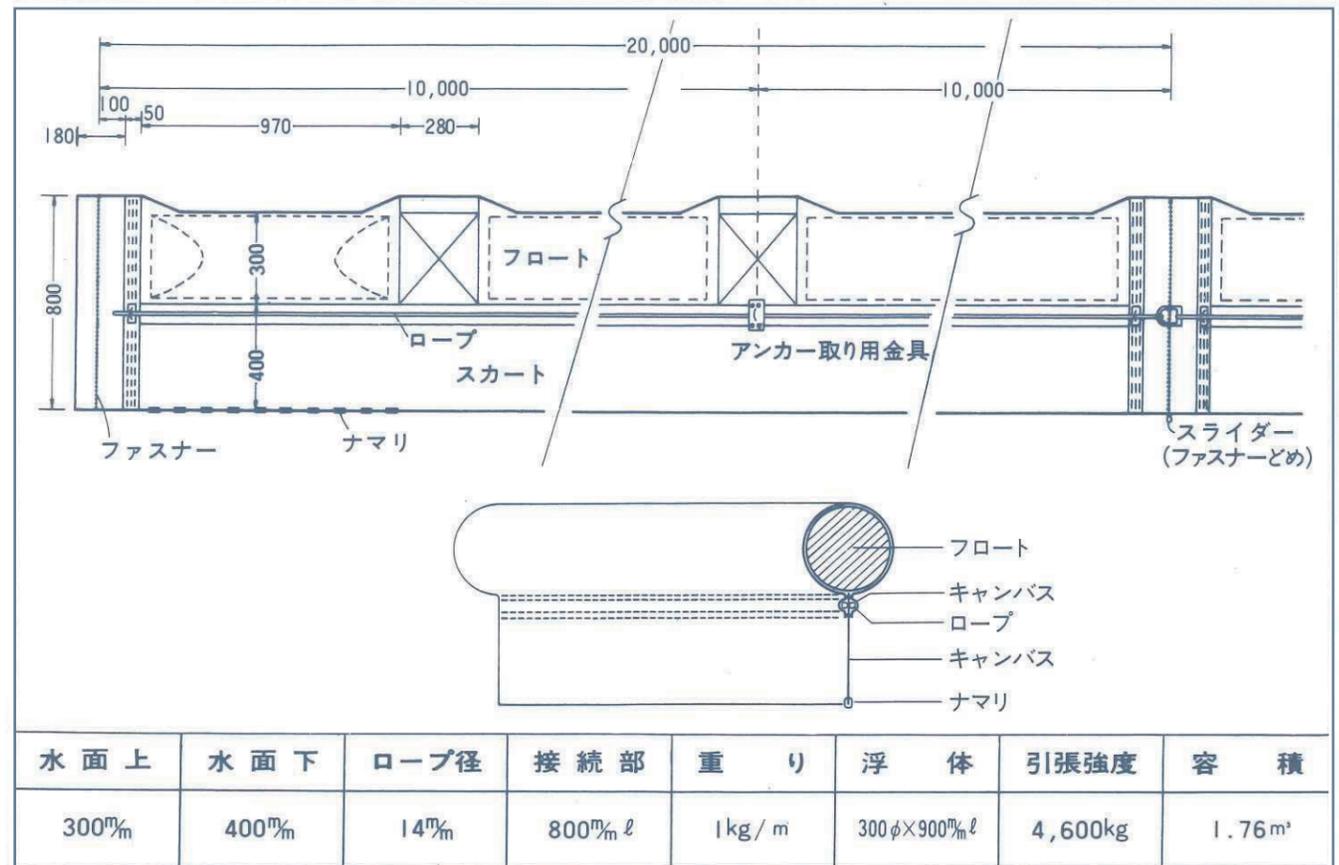
運輸省令第29号(昭和49年7月13日)海洋汚染防止法施行規則の一部を改正する省令に基づく、オイルフェンスB種です。

ナスコオイルフェンスB種・E4タイプには、E4-A・E4-C・E4-K・E4-L・E4-N・E4-Tと下欄表のように用途により6種類の型式があります。これもそれぞれ、形状・大きさ(海面上の高さ30cm・海面下の深さ40cm)・

接続部の型式はすべて同じです。分類の仕方はA種同様に用途別・材質等の別により6種類としています。

B種の適用範囲

- 500t以上のタンカー
- 5万KL以上の油保管施設
- 1万t以上のタンカー係留施設



●上欄はE4タイプすべて共通の数値。 ●下欄はタイプ別による比較表。

型式	E4-A	E4-C	E4-K	E4-L	E4-T
防油壁の主材料	クレモナ5150	クラフテル6号	クラフテル4号	レオナ T-3000	テトロン T-5000
材質	ビニロン	エステル	エステル	ナイロン	エステル
製品重量 20m当り/kg	58 kg	60 kg	65 kg	61 kg	88 kg
用途	緊急用	緊急用	予防用	予防用	常設用
型式承認番号	第P-223号	第P-224号	第P-225号	第P-226号	第P-228号

ナスコオイルフェンスの構造と特徴

構造

固型浮体式で、浮力体(耐油性スチレンフロート)を入れてあり、浮力体間には折りたたみ可能(間仕切り部)な部分を設けてあります。又、水面下には被覆布と同質の布地を垂直に垂らして防油壁とし、その下端には浮遊の安定及び復原を保つ為の鉛を外側より取り付け重錘としてあります。

補強索には伸びの少ないポリプロピレンロープを使用し、ロープ両端は首止メ金具にて固定させています。又接続部は、重ね合せファスナー方式です。



特徴

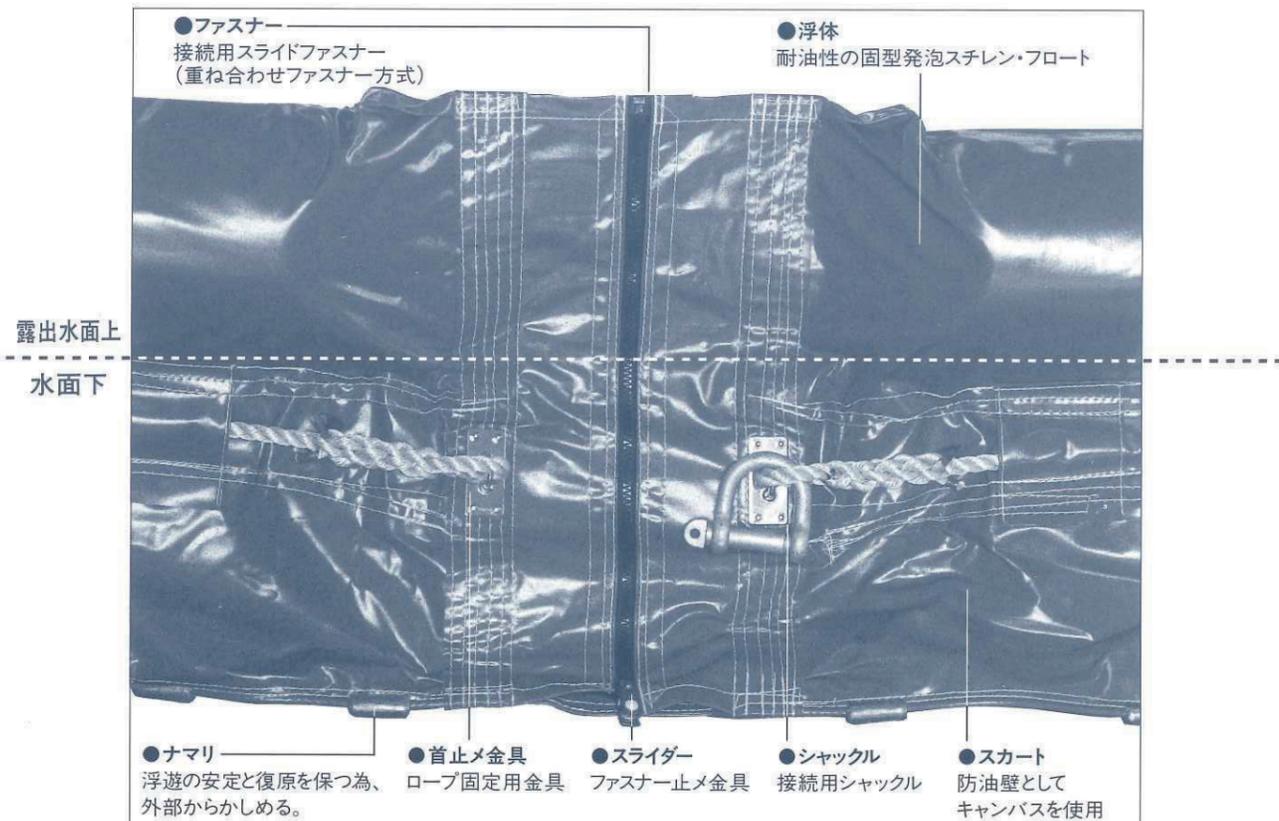
●耐油性・耐候性 本体部及び水面下防油壁のキャンバスは軽くて強く、しかもオイルフェンスの使用条件に適した材質のものを使用しています。したがって、天候による変化は全く無く、耐油性に優れ、耐久性も抜群です。

●作業上の取扱いが容易 軽くて持ち運びが良く、約1m毎に間仕切り部を設けてあるので、容積が少なく済み、展張、回収など取扱いが容易です。

●重量が軽い 本体及びスカート部にはキャンバスを使用し、浮力体には耐油性スチレンフロートを使用しているため軽量で持ち運びが便利です。

●長さ方向への強力 本体部の長さ方向への強力は、浮力体とスカートとの間にメインロープを両面(2本)くみこみ、本体布地及接続部に直接に力が加わらない方法をとっています。

●波乗りが抜群 円筒形の浮力体部と適度の間仕切り部が、波乗り効果を高め、水面上の高さはいつも安定しています。

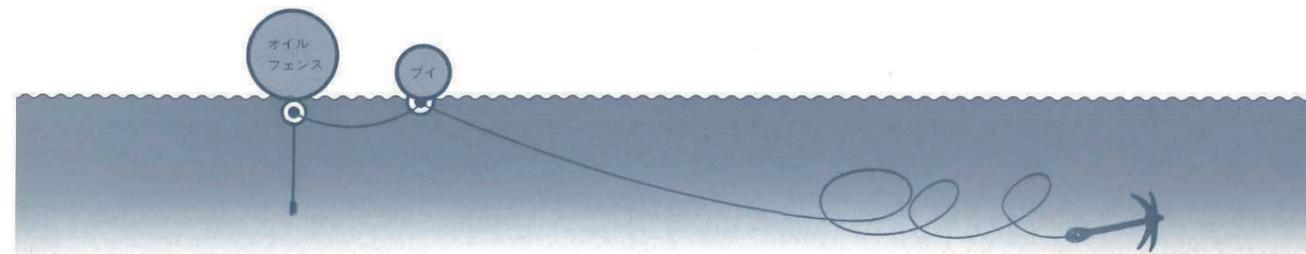


展張方法

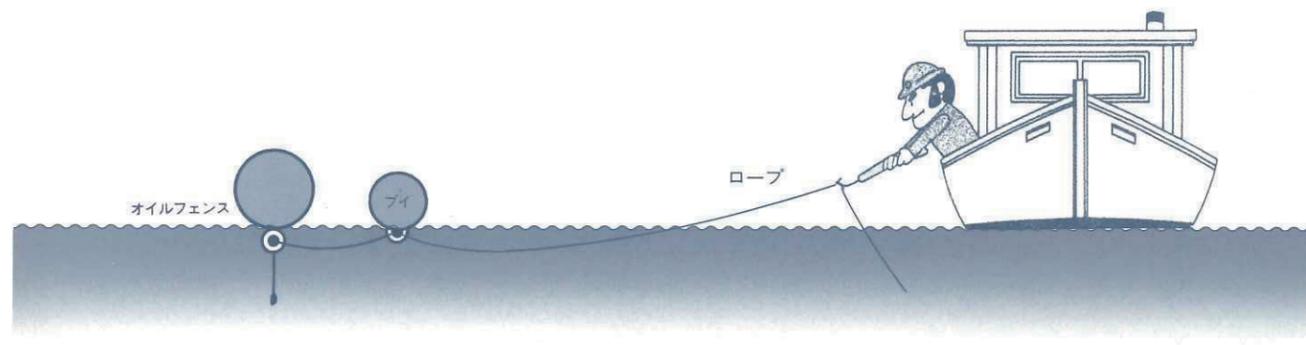
アンカー取り付け要領

●展張するオイルフェンスにアンカーを取る場合は、あらかじめ陸上及び船上にてアンカーロープ及びブイをオイルフェンスのアンカー金具に取り付けて下さい。

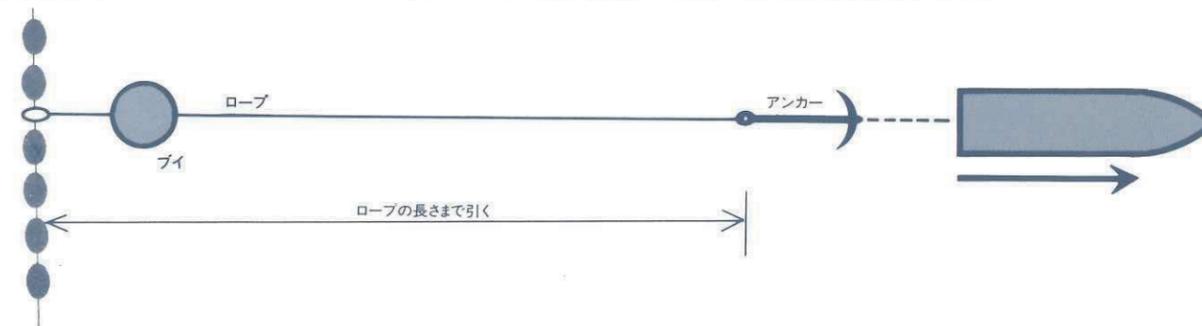
(注)アンカー取付金具は20mの間隔1ヶ所に取り付けてあります。



●展張されたオイルフェンスに取り付けられたアンカー用ロープを海中より引き揚げ、アンカーを取り付けて下さい。



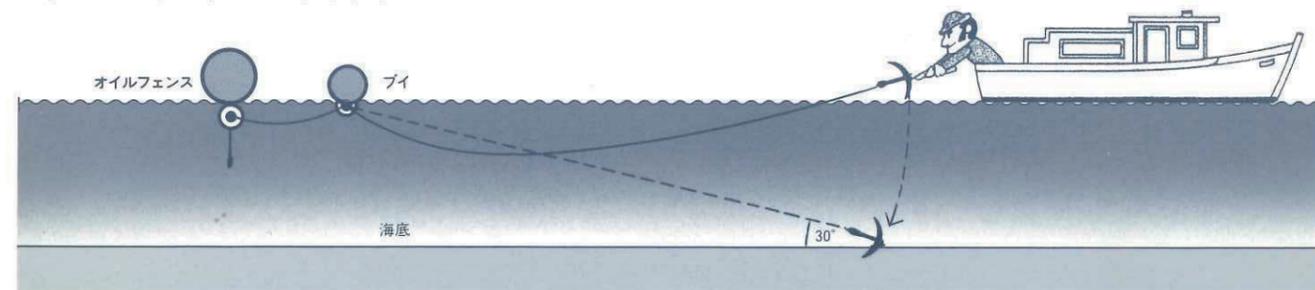
●取り付けられたアンカー・ロープ・ブイはアンカー設置点まで引き、海中におとして下さい。



■アンカー用ロープの長さの設定

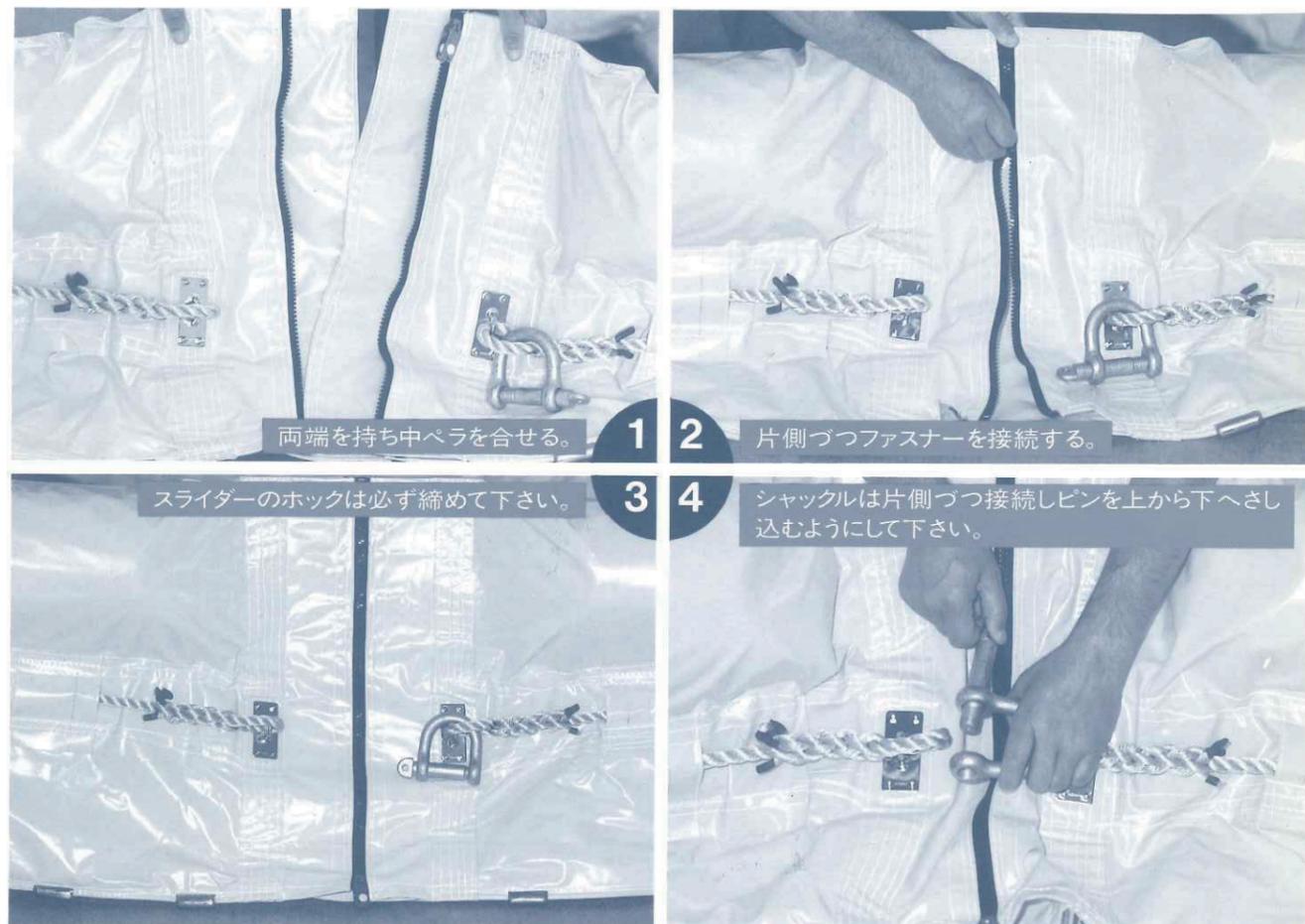
●アンカーの固定角度は、30度以下になるようにし、それに必要なロープの長さは下記算式による。

$$L(\text{ロープの長さ}) = 3 \times \text{水深}(H) + 5$$



接続及び展張

■接続方法 一本の長さはいずれも20mです。必要の長さを接続して御使用下さい。



■展張

展張時の曳航速度

ナスコオイルフェンスを展開するために海上を曳航するときはナスコ専用のストレッチガイド（裏表紙）を御利用いただくと無理な力を加えることなくスムーズに展張できます。曳航速度は300m以下は5ノット、それ以上は3ノットが適当です。



■使用上の注意

- 運搬及び展張をする際は地上、岩壁その他船腹などに強くこすらないようにして下さい。
- 流出油の風下より、本体がねじれないように投下して下さい。

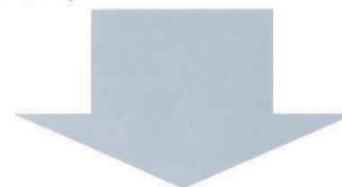
- 曳航時、ストレッチガイドのない場合には必ず両方のメインロープにシャックルを付け、ロープを取り付けてから曳航して下さい。

回収及び保管

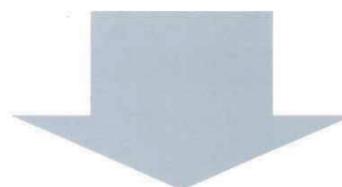
- ①回収は、アンカーを初めに引き上げ、風下側より引き上げるようにして下さい。又引き上げる際は船舶及び岸壁などの摩擦に注意して行なって下さい。



- ②回収の終了したオイルフェンスを単体にしておく時は、ファスナーライダーのホックを必ずロックしておいて下さい。



- ③回収されたオイルフェンスの汚れ、油、水分は十分に取り除いて下さい。



- ④保管の時はキャンパスの硬化を防ぐ為、なるべく直射日光はさけて下さい。



多量のオイルフェンスを保管する時は、梱包袋に詰め、積み重ねる方が場所をとりません。

